

<報道発表資料>

(経済同時)

令和 8 年 1 0 月 5 日

(地独) 京都市産業技術研究所

京都市産業観光局スタートアップ・産学連携推進室

令和 8 年度 知恵創出“目の輝き”企業認定

(地独) 京都市産業技術研究所 (以下「産技研」という。) では、「伝統技術と先進技術の融合」や「新たな気づき」といった知恵産業をキーワードに、産技研が技術的なサポートを行い、製品化・事業化等に繋がったもしくは繋がりが期待できる事業、研究開発により、知恵産業の推進に大きく寄与した企業・団体を知恵創出“目の輝き”企業認定 (※ 1) しています。この度、令和 8 年度の認定企業として 3 社を認定します。(制度詳細は P 4 <参考> をご参照ください。)

また、知恵創出“目の輝き”企業認定授与式・認定事業発表会を第 1 部、認定企業及び京都市産業技術研究所ユーザーズコミュニティ (以下「産技研 U C」という。 ※ 2) 会員等の交流を図るネットワーキングセッションを第 2 部とする、産技研 U C 創造フォーラムを開催します。

【令和 8 年度 知恵創出“目の輝き”企業認定 3 社】(五十音順)

①三彩工房株式会社 (<https://sansai-studio.co.jp/>)

所在地：〒615-0032 京都市右京区西院西高田町 19 番地 4

代 表：代表取締役 峪 博

【認定対象事業】デジタル技術で、型友禪の技と意匠を次代へ「型紙自動作成システムの導入と型友禪意匠を生かした商品展開」

・京友禪の型染めに用いる型紙は、熟練した職人の手作業によって製作されてきたが、職人の高齢化や後継者不足が課題となっている。三彩工房株式会社では、産技研が開発した「友禪型紙彫刻システム」の技術をもとに、汎用のカッティングプロッターを活用した型紙製作を導入。型紙のカットデータ作成や機器操作の技術を習得し、若手・少人数でも高精度な型紙を製作できる体制を構築した。

・さらに、デジタル化した型友禪の意匠を染色だけでなく、レーザー加工による木製食器等の商品にも展開。京都の土産店での販売や EC 卸、海外輸出など、新たな販路につなげている。産技研では、型紙製作システムの開発、令和 4 年 (2022 年) の ORT 事業による技術移転、機器導入や運用に関する技術支援等を実施。今後は、京都の型友禪に加え、他地域の型染めや神具用型紙などへの技術展開も目指している。

②大東寝具工業株式会社 (<https://www.daitoushingu.com/>)

所在地：〒612-8238 京都市伏見区横大路下三栖山殿 66 番地 2

代 表：代表取締役 大東 利幸

【認定対象事業】眠りを科学する「感覚の数値化と AI 活用による理想の眠りの追求」

・大東寝具工業株式会社の看板製品「京和晒綿紗」は、熱をかけず時間をかけて精練する伝統的な「和晒」加工を施したガーゼ生地で、「洗うほどに柔らかくなる」「肌触りが良い」と評価されてきた。一方、こうした感覚的な特長を裏付ける客観的なデータがなく、製品の強みをどのように可視化し、伝えるかが課題となっていた。

・産技研では、電子顕微鏡を用いて一般的な「洋晒」と「和晒」の繊維構造の違いを画像で比較するとともに、風合い測定により、洗濯に伴う柔らかさの変化を数値化。これまで職人の経験や使用者の感覚として捉えられていた「京和晒綿紗」の特長を、画像とデータによって客観的に示すことを可能にした。この成果は日本繊維機械学会でも発表され、伝統的なものづくりから生まれる「感覚的な価値」を科学的に裏付け、製品の差別化や魅力の発信につなげている。

③丹波ワイン株式会社 (<https://www.tambawine.co.jp/>)

所在地：〒622-0231 京都府船井郡京丹波町豊田鳥居野 96

代 表：代表取締役 黒井 衛

【認定対象事業】京都の食文化に合うワインを創る「京都酵母と丹波ワインの出会い」

・「京都の食文化に合うワイン」を目指してワイン造りを続けてきた丹波ワイン株式会社では、日本酒製造用に開発された京都酵母に着目。5 種類の京都酵母を用いた発酵試験を行い、発酵特性や香りなどを比較した結果、「京の恋」と日本固有品種である甲州ブドウとの組合せを選定した。甲州ブドウのフルーティーなニュアンスに、「京の恋」が作り出す華やかな香りと心地よい酸味を調和させ、和の食文化に寄り添う新たなワインを開発した。

・開発にあたっては、小スケールでの発酵試験やブドウ品種の選定、日本酒醸造にならった低温発酵などに取り組み、京都酵母「京の恋」の特徴を引き出す製造条件を検討。産技研では、これらの取組に対して技術的な支援を行った。今後は、発酵環境の管理をさらに高度化することで味わいの再現性を高めるとともに、京都の酒蔵との協働など、京都ならではの新たな展開を目指す。

<令和8年度 知恵創出“目の輝き”企業認定授与式・産技研UC創造フォーラム概要>

- 日時 令和8年11月5日（木）午後2時～午後8時（受付開始：午後1時半）
- 会場 京都リサーチパーク1号館4階 サイエンスホール、会議室、ホワイエ
（〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134）

※交流会は、京都リサーチパーク10号館1階G O C O N Cで開催

- 参加対象者

産技研UC会員をはじめ、オープンイノベーションや異業種とのコラボレーションに関心がある方、新たな分野でものづくりを模索されている方、認定企業の取組に関心のある方、産技研の活用を検討されている方等

- 定員なし ※交流会のみ80人（先着）

- 参加費無料

※交流会に参加される場合は、当日に交流会費として4,000円お支払いいただきます。

- 申込方法

令和8年9月15日（火）～令和8年10月30日（金）に、以下ページ内の参加申込フォーム（<https://tc-kyoto.or.jp/ucf2026/>）から申込。

※交流会参加のみ定員に達し次第、受付を〆切。

- プログラム

14:00～ 15:00	<第1部 知恵創出“目の輝き”企業認定授与式・認定事業発表会> 主催者挨拶 西本 清一（地独）京都市産業技術研究所理事長 来賓挨拶 草木 大 京都市産業観光局長 認定証授与・記念撮影・認定事業発表会
15:00～ 17:15	<第2部 産技研UCネットワーキングセッション> 会場各所で展示、トークセッション等を開催 ・ 産技研UC会員・知恵創出“目の輝き”認定企業の出展 ・【特別企画①】「分析・計測技術」特設展示 （関連企業による技術展示・ミニプレゼン） ・【特別企画②】デザインで変わる、これからの京都のものづくり （デザイン事業者による展示・クロストーク） ・ 支援機関の出張相談窓口の開設 等
17:45～ 20:00	<第3部 交流会>

※出展企業やプログラムの詳細は、WEB（<https://tc-kyoto.or.jp/ucf2026/>）でご確認ください。

<お問合せ先>

(地独) 京都市産業技術研究所

〒600-8815

京都市下京区中堂寺栗田町9-1 (京都リサーチパーク9号館南棟)

TEL 075-326-6100 (代表) FAX 075-326-6200

URL <https://tc-kyoto.or.jp> 共創推進センター 上坂

<参考>

※1 知恵創出“目の輝き”企業認定 <https://tc-kyoto.or.jp/nintei/>

①認定対象

- ・「伝統技術と先進技術の融合」や「新たな気づき」といった知恵産業をキーワードに、産技研が技術的なサポートを行い、製品化・事業化等に繋がったもしくは繋がりが期待できる事業、研究開発により、知恵産業の推進に大きく寄与した企業・団体。平成25年度から令和7年度までに、のべ49社を認定。

※認定対象は、事業（取組や技術、研究開発等）としており、一度認定を受けた企業・団体においても、過去に認定した事業と別の事業であれば認定できる。

②認定企業への支援内容

産技研による技術支援や研究所内ショールーム「京乃TANA」での製品展示のほか、京都市の各種支援制度※の対象となる。

また、産技研UCに参画する支援機関等と連携した販路開拓や技術マッチング支援などの伴走型支援を実施する。

※京都市の支援制度（別途、要件や審査あり）

- ・企業立地促進制度
- ・融資（京都市関連認定制度資金）
- ・京都市ベンチャー購買新商品認定制度 等

※2 京都市産業技術研究所ユーザーズコミュニティ（「産技研UC」）

<https://tc-kyoto.or.jp/uc/>

地域のものづくり関連企業700社以上のネットワークと支援機関・金融機関・大学等の地域企業のサポーターを加えた幅広い異業種交流のコミュニティとして令和6年に創設。年間を通じて技術フォーラム、講演会、異分野技術体験等を開催し、ユーザー同士の交流を推進。